

【目指す学校像】みんなで どんなときも りかいしあえる学校

【目指す児童像】かしこい子 やさしい子 たくましい子

# みどりが丘小だよ

令和3年10月15日発行  
鹿沼市立みどりが丘小学校



## 感染防止と学びの保障の両輪で

約1ヶ月間の緊急事態宣言もようやく解除になり、通常の教育活動に向けて希望の光が見えてきました。とはいうものの、完全に収束とまではいかず、これからは「with コロナ」の意識が大切といわれております。また、12歳未満のワクチン未接種という状況を考えると、小学校や幼稚園・保育園・学童保育などにおいて感染が拡大する心配があり、今後は「感染防止対策」と「学びの保障」の両輪で教育活動を展開していく必要があります。教職員はタブレットの活用など授業力を高める研修に励んでいるところです。

さて、緊急事態宣言期間中にできなかった校外へ出かける学習や学校行事等が10月以降に延期となったため、今後は体験活動が多くなり、充実した教育活動が展開されることとなります。皆様のご理解・ご協力のほどをよろしくお願いいたします。



お知らせ

### 緊急事態宣言解除を受けて

約1ヶ月にわたり発令された緊急事態宣言がようやく解除となりました。これまで、様々な感染防止対策を講じながら教育活動を実施した結果、学びを止めずに乗り越えることができたのは皆様のご協力のおかげと感謝申し上げます。今後も「手洗い、消毒、マスク」「3密の回避」など基本的な感染防止対策を徹底しながら教育活動を実施して参ります。なお、以下の点についてのご理解・ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

#### 1. 家族に風邪症状（発熱・咳など）の方がいる場合の登校は控えること

- ・特に兄弟関係の登校にご注意下さい。
- ・集団生活の場である学校において、感染を広めないための対応であることをご理解下さい。

#### 2. 学びの保障として、タブレットの活用を図る

- ・長期間の出席停止に対応できるよう、タブレットの活用を積極的に行う予定です。
- ・今後はリモートによる授業参加も視野に考えて参ります。

#### 3. 学校生活における様々な制限は、1学期の対応に戻す

緊急事態宣言期間中、特別教室の使用制限をはじめ休み時間の交代制や異学年交流中止など、様々な面で制限をかけた生活が続きました。さらに、家庭での生活に関しても外出制限により自宅で過ごす時間が増え、動画の視聴やゲームの時間も増加するなど、不規則な生活から登校を渋ったり教室で不適応を起こしたりする児童が目立つようになりました。現在、保健室では連日数名の児童が過ごす状況が続いております。これらのことから、緊急事態宣言解除を受けて1学期の対応に戻し、生活習慣の改善を図りたいと思います。

ご家庭におかれましても、お子様の心の安定に目を向けていただき、休日におけるゲームや動画の視聴時間の管理や家族でリフレッシュする時間を設けるなど生活習慣の改善にご協力下さいますようお願いいたします。



## 様々な体験を

飯島様のご協力で、5月に田植えをした苗が無事収穫を迎えました。  
子供たちにとっては収穫後の活用の方が楽しみかも？

【5年 米づくり】～稲刈り9. 7 (火)、脱穀9. 28 (火)～



【4年 手話体験】～9/21 (火)、28 (火)～



手話で自己紹介をしたり、歌を覚えたりと、充実した授業が展開されました。覚えた手話で、どんな発表ができるか楽しみです。

【2年 バス乗車体験】～9/24 (金)～



市役所市民生活部と関東自動車様のお世話になり、バスの乗り方を学習しました。なぜリーバスと呼ぶのか、ていねいに説明して下さいました。

【1年 校外学習】～(宇都宮動物園) 10/8 (金)～



当日は晴天に恵まれ、動物と触れ合ったり、青空の下でお弁当を食べたり、乗り物に乗ったりと大満足の1日を過ごすことができました。

### <校長のつぶやき>

### ～2年前の台風被害を思い出す～



台風シーズンとなりました。私はこの時期になると、2年前の台風19号を思い出します。

粕尾小校長であった当時、体育館を避難所として開設する連絡を受け、大雨の中、車で学校へ向かいました。前が見えない状況で運転していたら、途中で冠水した道路に車が突っ込んでしまい、水没。前方にJAFのトラックが水没しており、自分のワゴン車より安全と判断した私は、なんとか車のドアを開け、前方のトラックに乗せてもらいました。

30分も経たないうちに、トラックのシート付近まで水位が上がり、周囲は濁流の渦に！携帯から119番に救助要請したら「河川の氾濫箇所が多いため、出動できません。自力で何とかお願いします。」と言われてしまい、JAF 職員と私は途方に暮れました。近くの中古車店から軽トラックが流れてきたり、プレハブ小屋が流されてきてぶつかりそうになったりしたときには、さすがに死を覚悟したことを今でも覚えています。

そのときに一番悩んだのは、「家族に伝えるべきか」でした。このまま黙っていて、もしものことを考えると悔いが残るかも・・・しかし、伝えたところで余計に心配をかけて家を飛び出されたら困る・・・結局、「車が水に浸かったけど何とか大丈夫」とだけ知らせました。シートにいたら危険と判断し、車窓から荷台に出て大雨の中、必死に耐え、地元の消防団の方々に救助されたのが6時間後。後ろを振り返ると、自分の車は屋根まで水没してしまいました。が、命だけは何とか助かりました。これまでテレビでは様々な災害の映像を見てきましたが、まさか自分が当事者になるとは！

粕尾小も体育館に土砂が押し寄せて使用不能となり、二次災害の危険もあるため臨時休業を余儀なくされました。様々な方々から支援の手を差し伸べていただき、人々の温かさが身に染みた3ヶ月でした。

